

しおや広域



～防災マルシェ～ 令和5年11月11日 氏家駅東口広場

秋季全国火災予防運動中、さくら市で防災マルシェが開催されました。防災マルシェに参加された皆様のあふれる笑顔と、活気に満ちたイベントの様子をお届けいたします。

塩谷広域行政組合消防本部では、管内のイベント等に合わせて、住民の防災意識向上を目指した普及啓発活動を行っております。

目次

新年のごあいさつ	2
議会だより	3
令和4年度決算報告	4
みなではじめよう!! ごみの減量	5
消防本部からのお知らせ	6

新年のごあいさつ



塩谷広域行政組合

管理者 **加藤 公博** (高根沢町長)

塩谷広域行政組合 正副管理者

管理者 **加藤 公博** (高根沢町長)

副管理者 **齋藤 淳一郎** (矢板市長)

花塚 隆志 (さくら市長)

見形 和久 (塩谷町長)

新年あけましておめでとうございます。

塩谷広域圏内にお住まいの皆様におかれましては、健やかなる新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より塩谷広域行政組合の事務事業におきまして、皆様の温かいご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類へと引き下げられ、各地において数年ぶりに催しが行われる等、日常の暮らしが少しずつ取り戻されつつあります。

当組合では、一般廃棄物処理施設・火葬場の運営、消防業務等を担い、地域住民の皆様の日々の暮らしに欠くことができない業務に取り組んでおります。

近年、世界規模で取り組む大きな課題として、「地球温暖化」があり、各地の自治体において「ゼロカーボンシティ」宣言により様々な取り組みを進めているところでありますが、当組合では、ごみ処理場「エコパークしおや」において、ごみを焼却した際に発生する熱エネルギーを回収し、発電を行っております。この電力は、当施設や隣接する組合施設で利用し、更に余った電力を売電し、サーマルリサイクルによるエネルギーの供給と循環型社会構築に寄与する施設としての強化を図っております。

また、消防行政においては、火災、救急、救助要請による出動に備え、日々訓練を行っております。特に、年々増加する救急出動要請に対応するため救急救命士の養成を図り、救急業務に携わる有資格者等の技術向上のための研修を行っております。救命率を高める普通救急救命講習についても、新型コロナウイルス感染症流行時には開催に制限がありましたが、徐々に開催をすることができるようになり、今後も住民の皆様との連携により積極的に普及啓発に取り組んでまいります。

塩谷広域行政組合は、塩谷広域圏内の皆さまの安全・安心のため、日々邁進してまいります。住民の皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、塩谷広域圏内の皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



本年度に納入された高規格救急自動車の説明を受ける加藤管理者

議 会 だ よ り



組合議員名簿

◎議 長 福田 克之

○副議長 和氣 勝英

番号	氏 名	選出市町
1	石塚 政行	矢 板 市
2	櫻井 恵二	矢 板 市
3	高瀬 由子	矢 板 市
4	伊藤 幹夫	矢 板 市
5	佐貫 薫	矢 板 市
6	笹沼 昭司	さくら市

番号	氏 名	選出市町
7	福田 克之	さくら市
8	石岡 祐二	さくら市
9	鈴木 恒充	さくら市
10	小堀 勇人	さくら市
11	和氣 勝英	塩 谷 町
12	富田 達雄	塩 谷 町

番号	氏 名	選出市町
13	直井美紀男	塩 谷 町
14	君嶋 恒夫	塩 谷 町
15	澤畑 宏之	高根沢町
16	加藤 章	高根沢町
17	齋藤 武男	高根沢町
18	神林 秀治	高根沢町

第151回定例会審議結果

(令和5年10月6日開催)

番号	議 案 名	審議結果	内 容
議 案 第1号	令和5年度塩谷広域行政組合一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○歳入歳出予算補正 歳入歳出予算の総額に5,150万円を追加し、予算の総額を35億8,439万4千円としました。 [歳入] 繰越金 5,150万円 [歳出] 衛生費 5,150万円
議 案 第2号	令和4年度塩谷広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入歳出差引額は1億3,172万6,231円で、そのうち448万円を翌年度に繰り越したため、実質収支額は1億2,724万6,231円となりました。
議 案 第3号	令和4年度塩谷地方ふるさと市町村圏基金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入歳出差引額は10万2,252円で、全額基金に繰り入れました。
議 案 第4号	塩谷広域行政組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症の位置付けが変更されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症に係る業務に従事した場合の防疫等業務手当を廃止するため、条例の一部を改正しました。
議 案 第5号	塩谷広域行政組合火災予防条例の一部改正について	原案可決	脱炭素社会の実現等に向けて、蓄電池設備の各基準の見直しが行われたこと、並びに、固体燃料を使用する火気設備等について、離隔距離に関する基準の見直しが行われたことなどから、条例の一部を改正しました。
議 案 第6号	塩谷・南那須PCR検査センター条例の廃止について	原案可決	令和5年3月31日をもって、塩谷・南那須PCR検査センターが廃止になったことに伴い、条例を廃止しました。
選 挙 第1号	副議長選挙について	選挙	副議長に塩谷町議会選出の和氣勝英議員を選出しました。
選 挙 第2号	議長選挙について	選挙	議長にさくら市議会選出の福田克之議員を選出しました。

第152回臨時会審議結果

(令和5年11月22日開催)

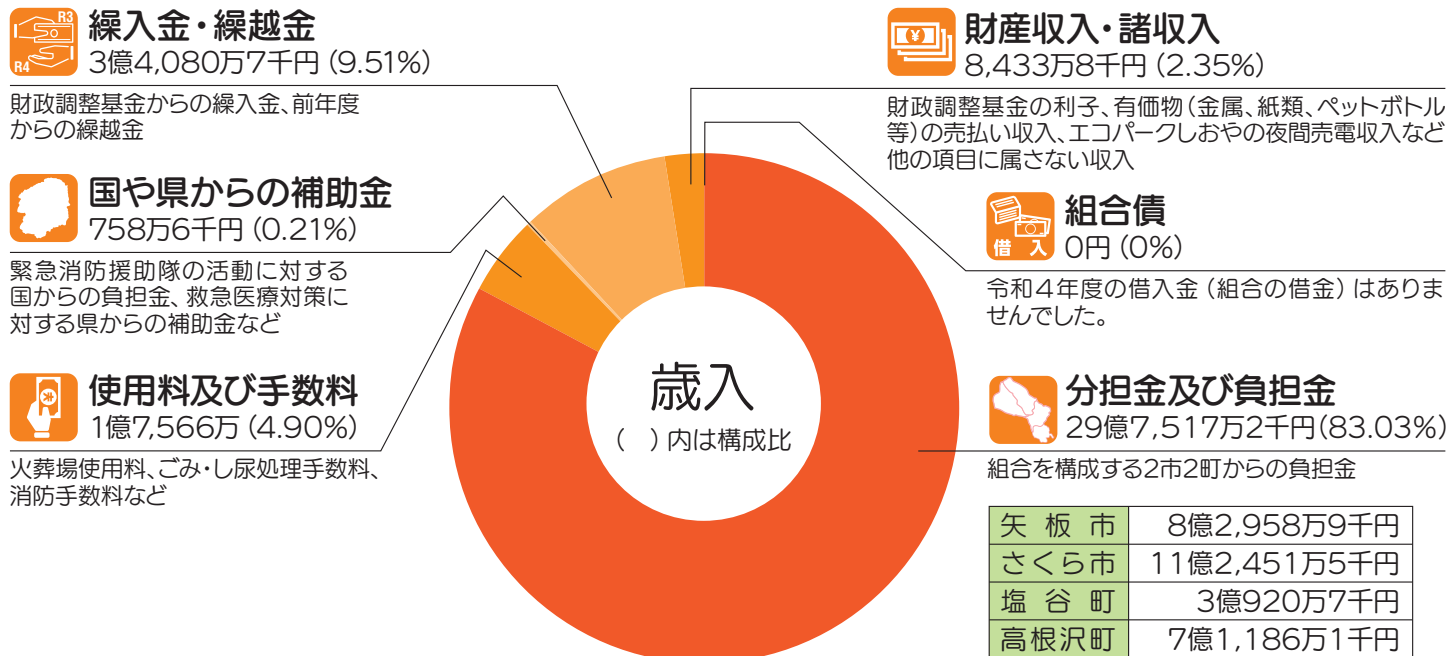
番号	議 案 名	審議結果	内 容
議 案 第1号	令和5年度塩谷広域行政組合一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○歳入歳出予算補正 歳入歳出予算の総額に80万7千円を追加し、予算の総額を35億8,520万1千円としました。 [歳入] 繰越金 80万7千円 [歳出] 総務費 80万7千円
議 案 第2号	塩谷広域行政組合職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決	令和5年人事院勧告による国の一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正に伴い、国に準じた改正を行うため、条例の一部を改正しました。
議 案 第3号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決	令和6年4月1日から、鹿沼市が退職手当支給事務等について、栃木県市町村総合事務組合の事務の共同処理に加入することに伴い、同組合規約の変更に関する協議について議決しました。

令和4年度 決算報告

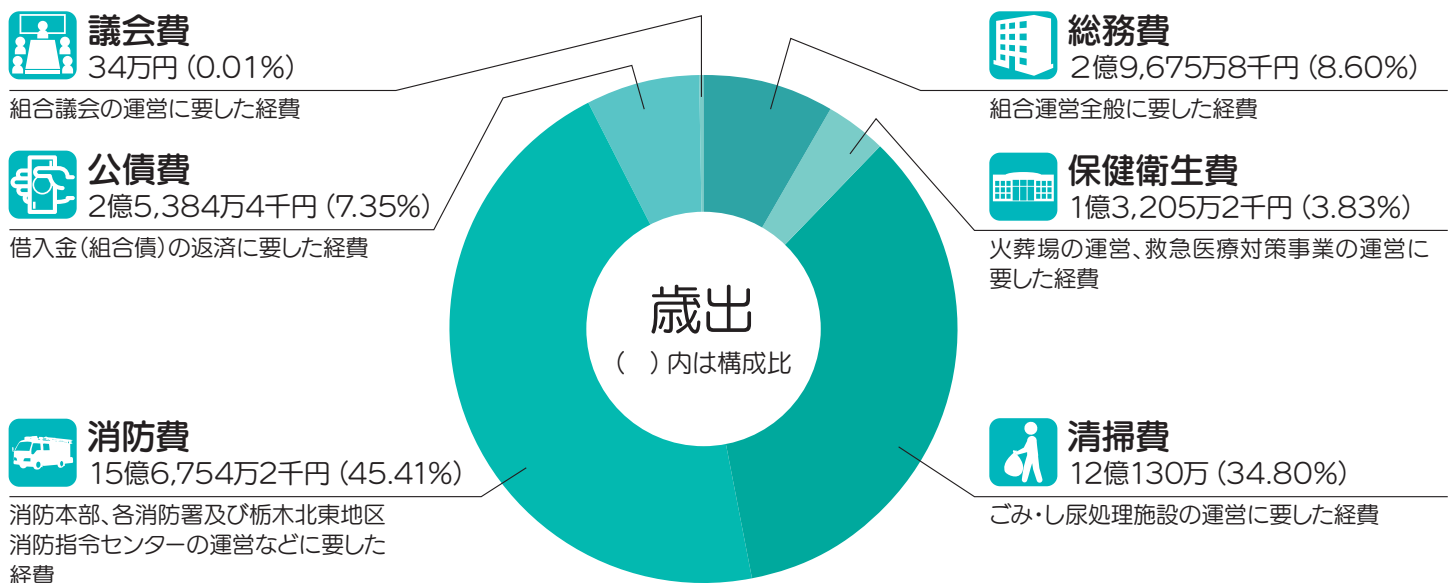
令和5年10月議会定例会において、令和4年度の塩谷広域行政組合一般会計及び塩谷地方ふるさと市町村圏基金特別会計の決算が認定されましたので、その状況をお知らせします。

一般会計

【歳入】35億8,356万3千円（前年度比11.07%減）



【歳出】34億5,183万6千円（前年度比11.36%減）

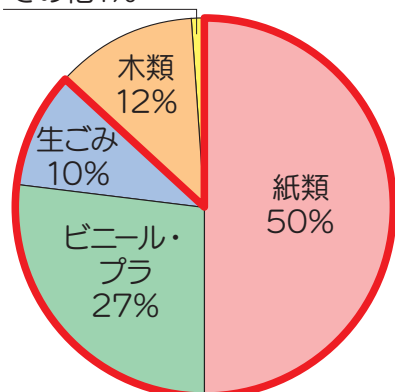


塩谷地方ふるさと市町村圏基金特別会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実施した主な地域振興事業
350万5千円	340万3千円	10万2千円	塩谷地区文化団体等支援事業 ・ 塩谷地区スポーツ協会 ・ 塩谷地区芸術祭 ・ 塩谷地区ニューススポーツ交流会

みんなではじめよう!! ごみの減量

その他1%



持ち込まれる燃えるごみの内訳
(エコパークしおや 令和4年度ごみ分析結果より)

実は、エコパークしおやに持ち込まれる

“燃えるごみ”の内訳って…

「紙類」「ビニール・プラごみ」「生ごみ」が
8割以上を占めています🌊

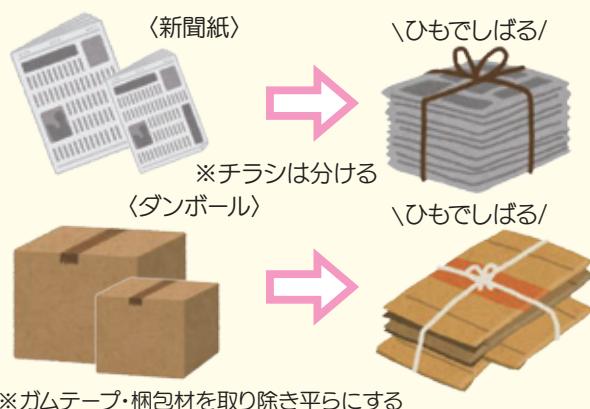
Q. なぜ、ごみの減量をするの？

A. ごみの焼却量が減ることで、CO2の排出やごみ処理コストを削減でき、環境にも、皆様のお財布にも優しいからです！

みんなで、どんなことができるかな？

◆紙類を分別しよう！

「紙類を分別しリサイクルすることで、可燃ごみを減らすことができます」



〈雑誌・チラシ・菓子箱〉

〈ひもでしばる/

〈紙片・値札〉

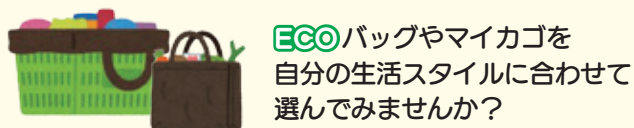
〈紙袋や封筒にまとめる/

＜注意＞リサイクルできない紙は、可燃ごみで出してください。

例 ■においのついた紙 ■汚れた紙
■防水加工された紙 ■カーボン紙など

◆ビニール・プラごみを減らそう！

「3つのECOで、ビニール袋やペットボトル等を減らすことができます」



◆生ごみを減らそう！

「『生ごみ3キリ運動』で生ごみを減らすことができます」



使いキリ

食材は無駄なく使い切りましょう!!

食べキリ

作った料理は残さず食べきりましょう!!

水キリ

生ごみを出すときは水気を切りましょう!!

【このページに関する問い合わせ】

エコパークしおや管理事務所
矢板市安沢3640番地 ☎0287-53-7370



救急車の適正利用にご協力をお願いします。

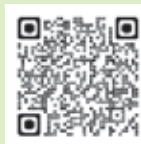
塩谷広域管内の救急出動件数は、令和4年には過去最高の5007件となり、救急出動件数は今後さらに増加する見込みです。

救急車の出動要請が増えることにより、現場に到着する時間が遅れ、**救える命が救えなくなる**場合があります。

救急車は、地域の限られた医療資源です。必要な方へ救急車を届けるために、救急車が本当に必要なか、自家用車やタクシーなどの一般の交通機関を利用できないか、もう一度考えてみてください。

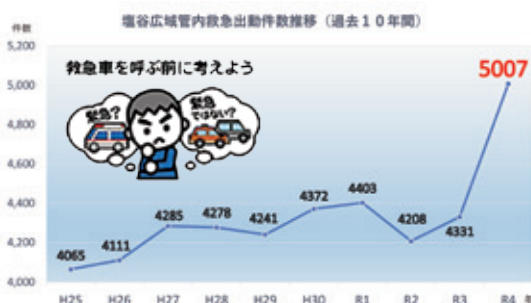
救急車を呼ぶか迷ったときには、全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）や栃木県救急医療電話相談を活用してください。

緊急のときは、ためらわずに119番通報をしてください。



詳細はこちらから

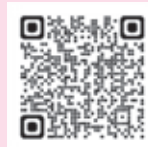
症状を選択していくと、緊急度に応じた必要な対応を表示してくれるアプリです。



救急搬送した人の約4割が入院する必要がある軽症の方でた。

急な病気やけがで心配な時に、看護師からアドバイスを受けることができる電話相談室です。

詳細はこちらから



村上消防士 全国消防救助技術大会入賞

第51回全国消防救助技術大会「ロープブリッジ渡過」の栃木県代表として、見事入賞を果たした高根沢消防署村上竜消防士にインタビューしました。

令和5年8月25日
北海道札幌市で開催

🎙️ まずは全国大会お疲れ様でした。全国大会の感想をお聞かせください。

念願の全国大会だったので、楽しみ半分緊張半分で臨みました。大会では、全国のトップレベルの選手たちと競い合う事ができ、良い経験となりました。

🎙️ 村上消防士が出場した「ロープブリッジ渡過」とはどんな競技ですか？

片道20mで張られたロープを2種類の渡り方で1往復する競技です。「フィジカル、バランス感覚、イメージの体現力」が求められます。

🎙️ ロープを渡っている時はどんな気持ちですか？

始めた頃はかなり辛かったのですが、今は日を追うごとにスピードが出てきていることが実感でき、上手く渡れている時は気分が良いです。

🎙️ 全国大会出場はいつ頃から意識しましたか？

5年ぶりの出場だったので、不安はかなりありましたが、競技の訓練初日から全国大会への出場は意識していました。

🎙️ 全国大会と栃木県大会はどちらが緊張しましたか？

栃木県大会です。優勝しなければというプレッシャーがありました。とても辛い競技なので、「優勝して有終の美を飾る！」という気持ちでした。

🎙️ 今後の目標は？

「応用ロープ登はん」という別の種目で、もう一度全国大会を目指したいです。

🎙️ 最後に消防士を目指す子どもたちに一言お願いします。

消防士は、やりがいのある仕事です！
いつか消防士になったら一緒に頑張りましょう!!



村上消防士の
競技映像はこちらから→
(2:10:00～ 第2コース)



また全国大会を
目指して
頑張ります。

